

平成20年度下水道コンクール 2名の作品が入賞!

(財) 神奈川県下水道公社では、毎年、下水道の役割や必要性を知ってもらうため、下水道について学んでいる相模川および酒匂川流域市町の小学4年生を対象に、作文・ポスター・書道の作品コンクールを行っています。昨年12月20日(土)には、茅ヶ崎市文化会館で表彰式が行われ、応募総数4,755点の中から、松田小学校4年生2名の作品が入賞し、表彰を受けました。

書道の部 入賞

松田小学校4年 渡辺 わたなべ 七都稀 なつき さん



新型インフルエンザの発生に備えましょう!



新型インフルエンザって何ですか?

インフルエンザウイルスが変異し、人への伝染性を獲得してインフルエンザの流行を引き起こした場合に「新型インフルエンザ」といいます。

インフルエンザウイルスが変異し、人への感染力を得ると、ほとんどの人が免疫を持っていないので、短期間で広範囲に感染が拡大し、死に至る方も多くではないかと恐れられています。

新型インフルエンザが発生すると私たちの生活はどうなるのですか?

国民の4人に1人が感染するといわれています。さらに感染の拡大を防ぐため、学校は長期間の臨時休校になり、会社なども欠勤者が増え、仕事ができなくなります。家庭では、不要不急の外出は控えるため、食料品や生活必需品が不足することなどが想定されます。

新型インフルエンザの発生に備えて出来ることは何ですか?

- うがい・手洗いをよくしましょう。
外出から帰ったとき、食事や調理の前、鼻をかんだりした後は、石鹸でよく手を洗いましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他人に顔をむけないようにしましょう。使ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、咳が続くときはマスクを着用しましょう。
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種を受けましょう。
現在のインフルエンザワクチンは、新型インフルエンザに対する直接的な効果は薄いといわれていますが、毎年接種すると、インフルエンザウイルス全般に対する抵抗力が高まり、インフルエンザにかかっても重症化しにくいといわれています。
- 食料・日用品を2週間分ほど備蓄しましょう。
いざ流行すると、できるだけ外出をしないことが勧められます。保存できる食料品や毎日使うものを備えておきましょう。
- 鳥インフルエンザの発生が報告されている地域への渡航時には情報収集を密にして十分注意しましょう。
【問合せ】町民健康課健康づくり係 ☎(83)1225

作文の部 入賞

『下水処理場に行つて』
松田小学校4年 阿部 あべ 僚太 りょうた さん

僕は社会の授業で、下水処理場へ見学に行きました。下水処理場へ行くまでは、トイレなどで汚れた水はそのまま流すと思つていましたが、魚や生き物が住めるようにきれいにした水を下水管に流すことが分かりました。

昔は森や林が多くて下水道の役割をしていました。でも今は家がいつばい作られて、森が少なくなつてきています。森に代わつてできたのが下水道だそうなんです。下水道は汚水をきれいにする働きをします。森林と同じ働きをするので私たちの生活に下水道は欠かせない大切なものだと思います。

昔は道路が土だったので、雨水が地下水となりました。けれど今はアスファルトなので、雨水を貯めることができません。そこでダムが作られました。ダムは人の使う水を二ヶ月分たためることができます。ダムは川に水が多い時は水をためておき水が少ない時には、ためておいた水を流すなど、水道などに利用しやすいように、川の水量を調節しているのです。

汚水は、酒匂川流域左岸幹線から酒匂管理センターまで下水道で運ばれ、そこできれいな水に処理され、川や海がよごれずにすむのです。処理された水は、もう一度トイレの水、せせらぎや公園の噴水に利用されます。又、とりのぞかれた汚泥はレンガやセメントに利用されるなど、汚水が下水処理場を通して、もう一度みんなの生活に役立っていることが分かり、とても勉強になりました。下水処理場ではずっと前から汚水を再利用していて、ペットボトルなどのリサイクルと同じように、地球にやさしいエコをやっていくつもりです。このように下水道は、川や海の水をきれいにしたり、街を清潔にしたり、浸水から街を守る役割があることがよく分かりました。下水処理場を見学して僕たちだけでなく、家族や日本のたくさんの人たちに、下水道の仕組みや働きなどを知ってもらい、水洗トイレにトイレトーパー以外は流さない、下水管に薬品・ガソリンなどは流さない、台所の排水口に油や野菜のくずは流さないなど自分たちができることをやってみようと思つたので、小さいことをコツコツ頑張つていけば、いつかきつと下水道のためになると思つています。

表彰された方々

(敬称略)

消防庁長官表彰

▼退職消防団員表彰(銀杯) 杉山 市好

▼元町消防団長 杉山 市好

▼永年勤続功労章 杉山 市好

▼元町消防団長 橋本 重実

▼第4分団副団長 橋本 重実

▼神奈川県消防協会会長表彰

▼功績章 安藤 典

▼第8分団副団長 安藤 典

▼第8分団部長 安藤 義文

▼勤続章 安藤 典

▼第8分団副団長 安藤 典

▼第3分団副団長 武尾 哲治

▼第7分団部長 井上 守

▼第4分団副団長 石澤 浩幸

▼神奈川県消防協会足柄上支部長表彰

▼本団副団長 矢崎 吉一

▼松田町長表彰

▼永年勤続表彰 二宮 一素

▼第4分団副団長 川口 雅史

▼第4分団副団長 川口 雅史

▼松田町消防団長表彰

▼優良分団 第8分団

▼優良団員 佐藤 浩一

▼第5分団班長 吉田 茂

▼第2分団班長 吉田 茂

▼第1分団副団長 仲村 雅文

▼第3分団副団長 陶山 秀之

▼第5分団副団長 熊澤 一弘

▼第6分団副団長 大館 誠

▼第6分団副団長 中嶋 健

▼第7分団副団長 山岸 勝一

平成21年消防出初式

1月7日(水)、酒匂川町民親水広場にて消防出初式を行いました。快晴の空の下、第3分団・第8分団による消防操法、立花愛児園の園児による和太鼓演奏、足柄工業連合会によるはしご乗り、一斉放水など、地域防災力の強化に向けた日頃の訓練の成果を披露しました。また、長年地域の消防活動に尽力された方々の表彰も行われ、大勢の来賓や観客の方々から惜しみない拍手が贈られました。

【問合せ】庶務課防災防犯係 ☎(83)1221

